



JCU CORPORATION

# 65期・2025年3月期 第2四半期決算説明資料

東証プライム 4975

2024年11月7日（木）

# 2025年3月期2Q 業績概況



【2Q 累計期間】 JCU (単体) ⇒ 2024.4~2024.9  
海外子会社 ⇒ 2024.1~2024.6

## 薬品事業

### 電子分野

- 中国はスマートフォンをはじめとする高機能電子デバイスの在庫調整が一巡したことでプリント基板の需要が回復基調となり、薬品売上高は前年同期比で大幅に増加
- 台湾は半導体市場に回復の兆しが見られ、サーバー、高機能電子デバイス向け半導体パッケージ基板の需要が緩やかに拡大したため、薬品売上高は前年同期比で増加
- 韓国は半導体市場の底打ちや顧客の在庫調整の進展により半導体パッケージ基板の需要に緩やかな回復が見られ、薬品売上高は前年同期比で増加

### 装飾分野

- 国内は一部自動車メーカーによる出荷停止の影響が緩和されたものの、デザイントレンドの変化に伴う薬品需要の低下もあり、薬品売上高は前年同期比で減少
- 中国は半導体・部材不足の緩和に伴い自動車の生産台数は増加したものの、当社が対象とする自動車部品の需要が低下したため、薬品売上高は前年同期比で横ばいに推移

## 装置事業

- 受注案件が予定通り進行したことで売上高は増加いたしました。大型案件の新規受注が減少したため受注高、受注残高は減少

# 2025年3月期2Q 連結実績



(単位：百万円)

	2023年3月期 中間期	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期		
	実績	実績	予想	実績	対前年増減率
売上高	13,117	10,864	12,100	12,736	17.2%
営業利益	4,680	3,095	3,870	4,665	50.7%
経常利益	4,720	3,202	3,870	4,983	55.6%
親会社株主に 帰属する 中間純利益	3,326	2,177	2,680	3,385	55.5%
1株当たり 中間純利益	128円26銭	85円04銭	105円78銭	133円72銭	—

# 為替レート



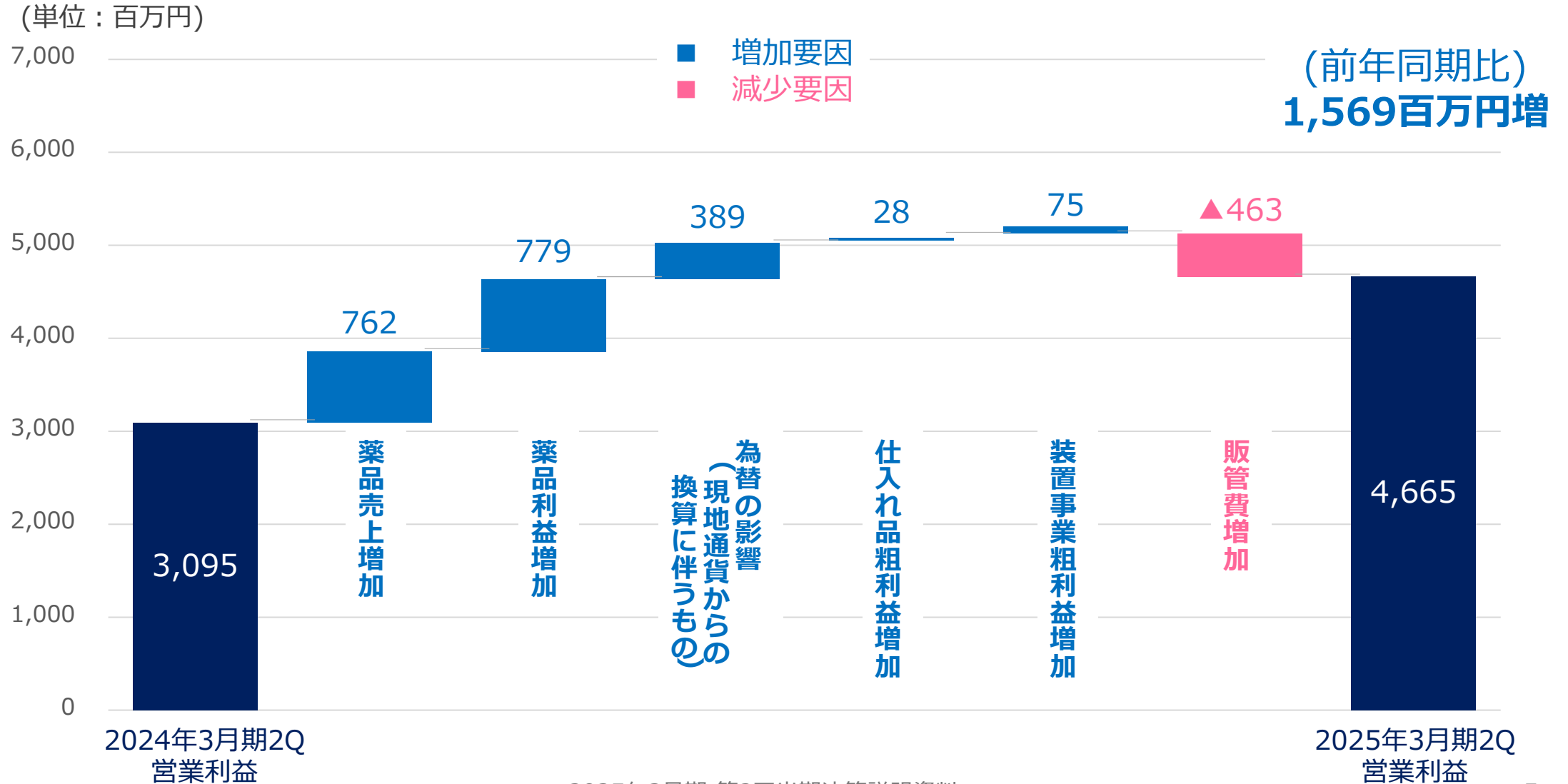
為替感応度（連結年換算）：下記主要通貨 1%の変動で、連結営業利益 1億円程度の影響

(単位：円)

	2024年3月期				2025年3月期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	(期首予想)	1Q	2Q
中国 人民元 ( C N Y )	19.34	19.45	19.61	19.82	20.40	20.63	21.05
台 湾 ド ル ( T W D )	4.36	4.42	4.47	4.51	4.60	4.73	4.78
韓 国 ウ オ ン ( K R W )	0.1039	0.1042	0.1062	0.1076	0.1100	0.1117	0.1127

(注) 当社の主要な外国通貨は、中国 人民元・台湾ドル・韓国ウォンであり、いずれも、期中平均レートを採用しております。

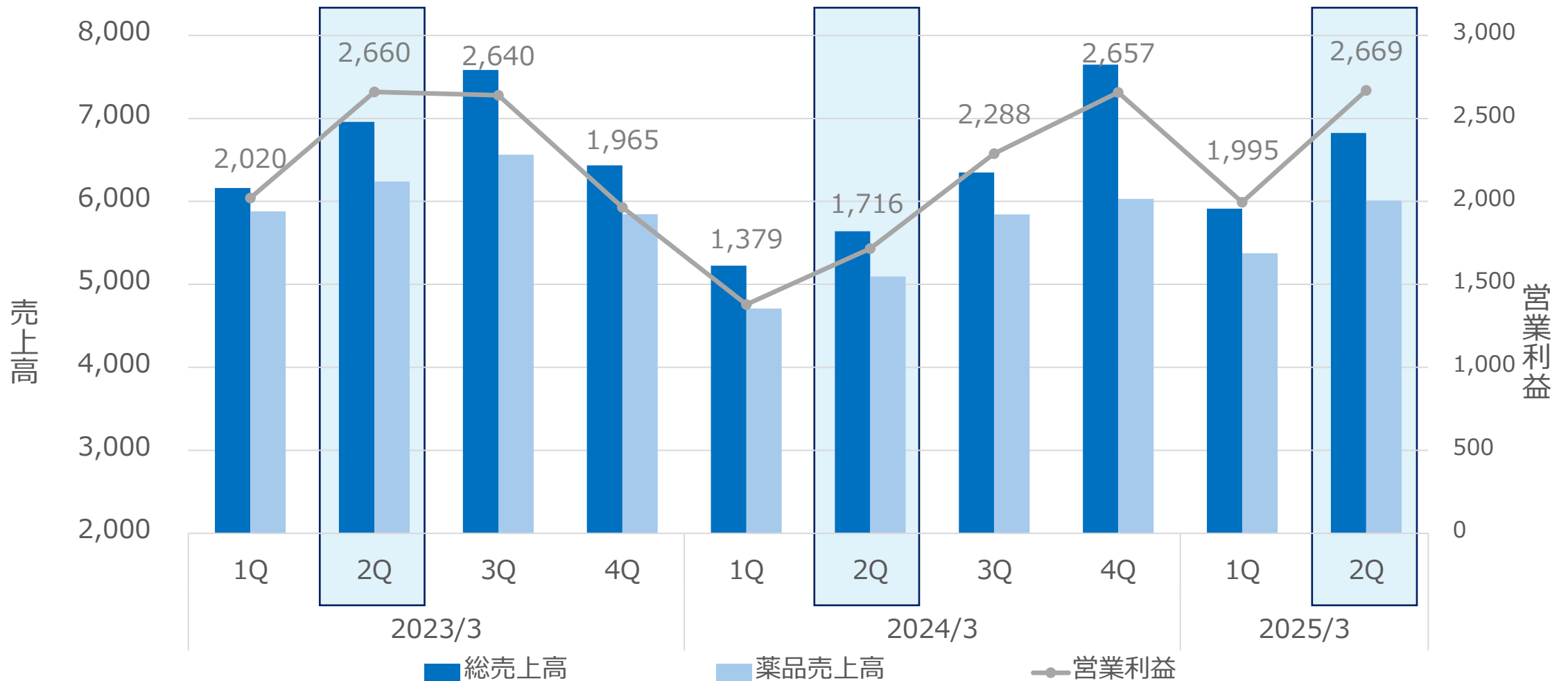
# 2025年3月期2Q 連結営業利益 増減内容



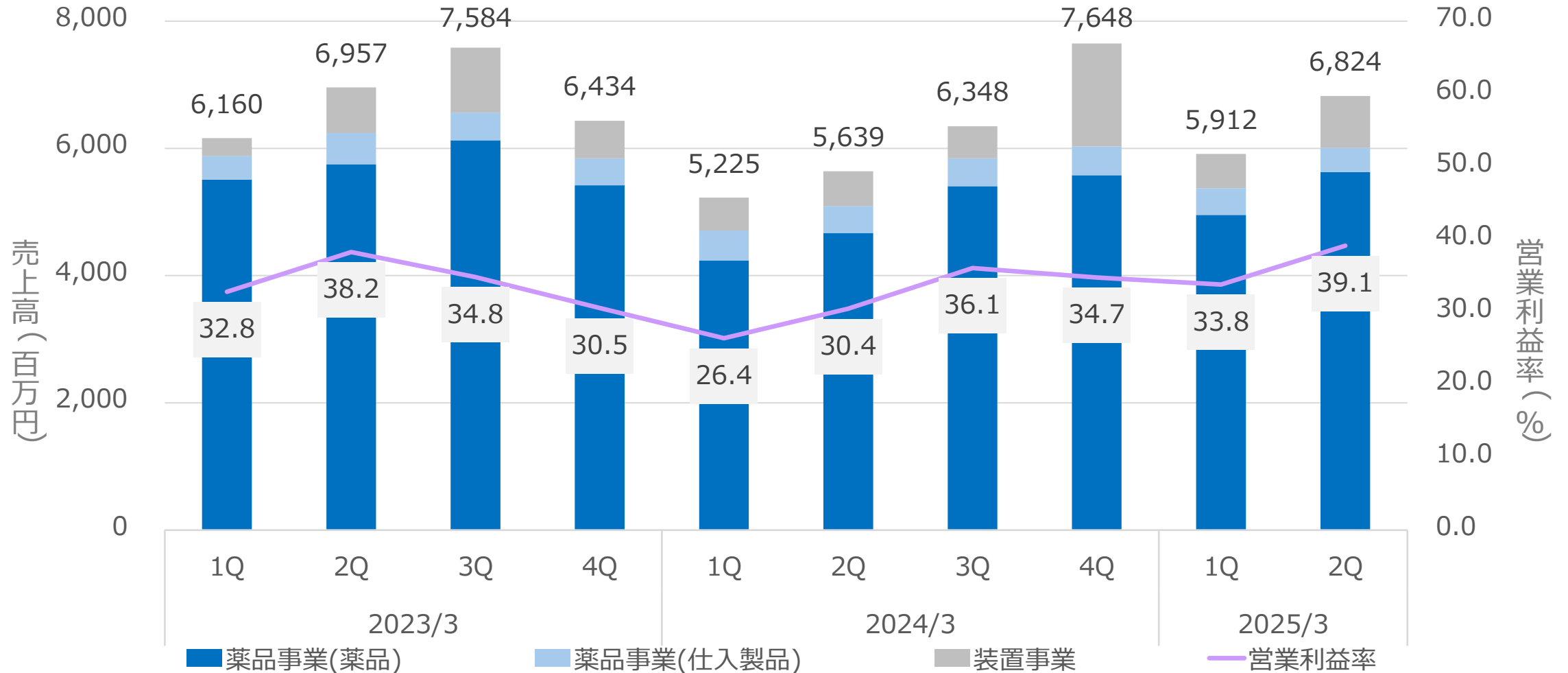
# 四半期別 連結実績の推移



(単位：百万円)



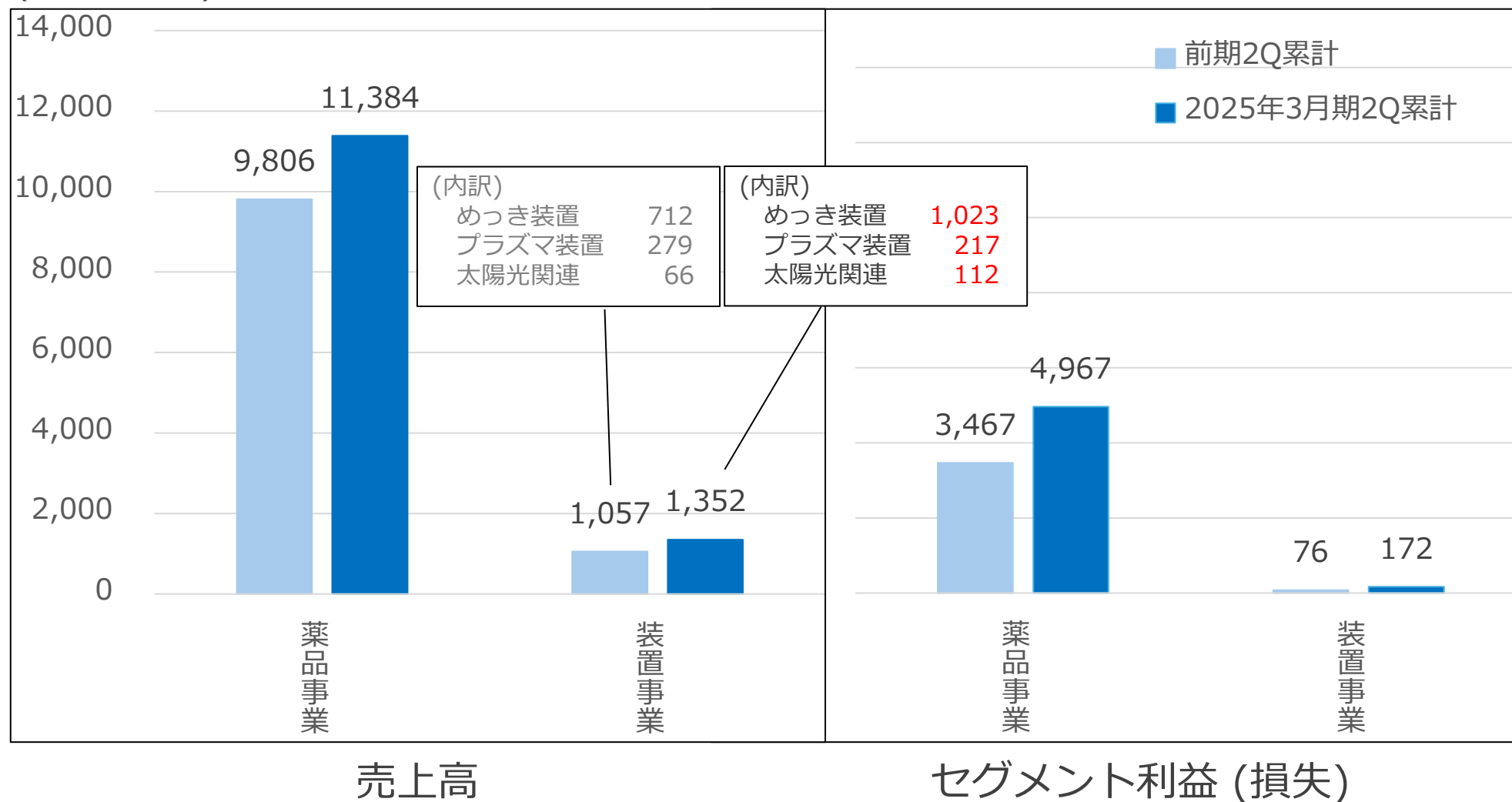
# 四半期別 連結業績の推移 (セグメント別)



# 2025年3月期2Q 連結セグメント業績



(単位：百万円)

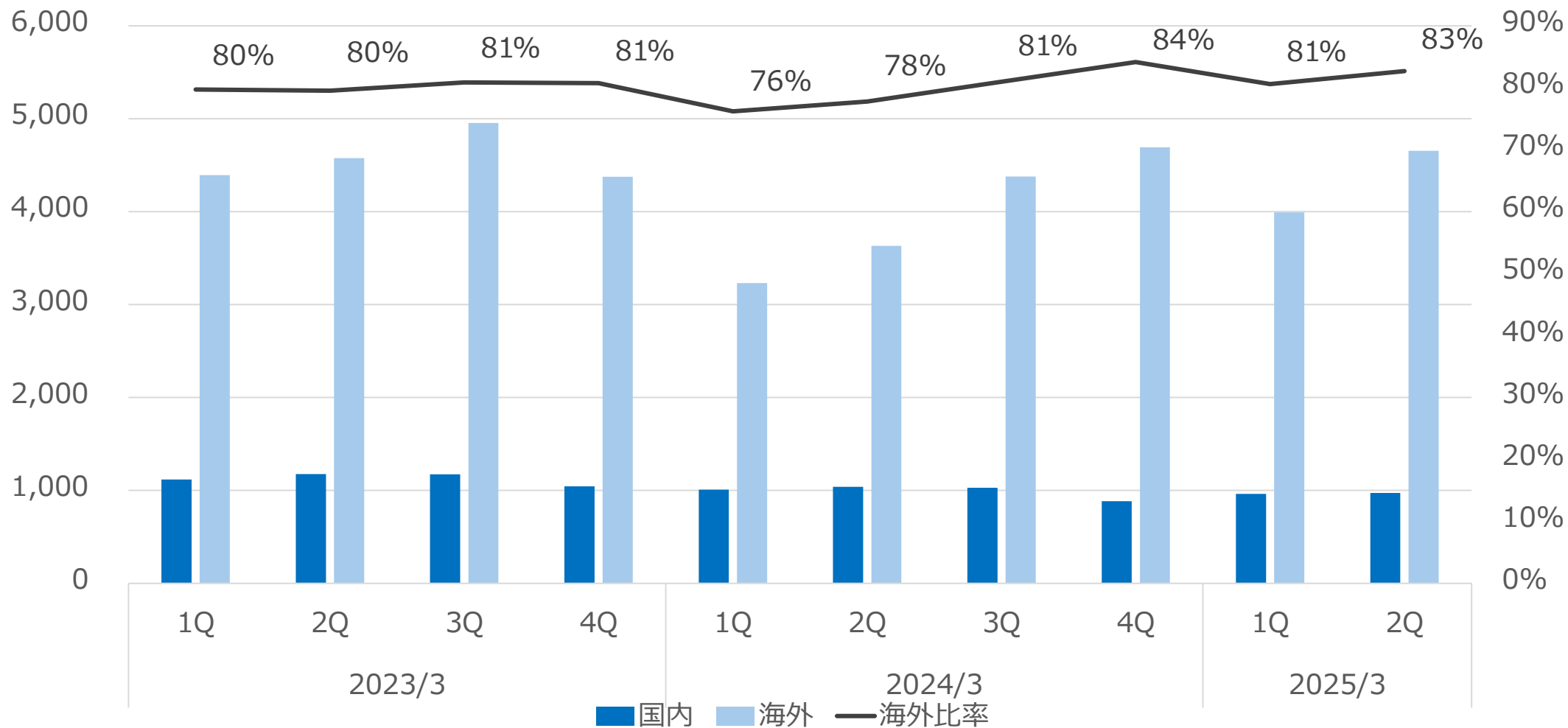




# 四半期別 国内外薬品売上高推移



(単位：百万円)



# POP, ビアフィリング, エッチング用薬品 | 四半期別 売上高推移

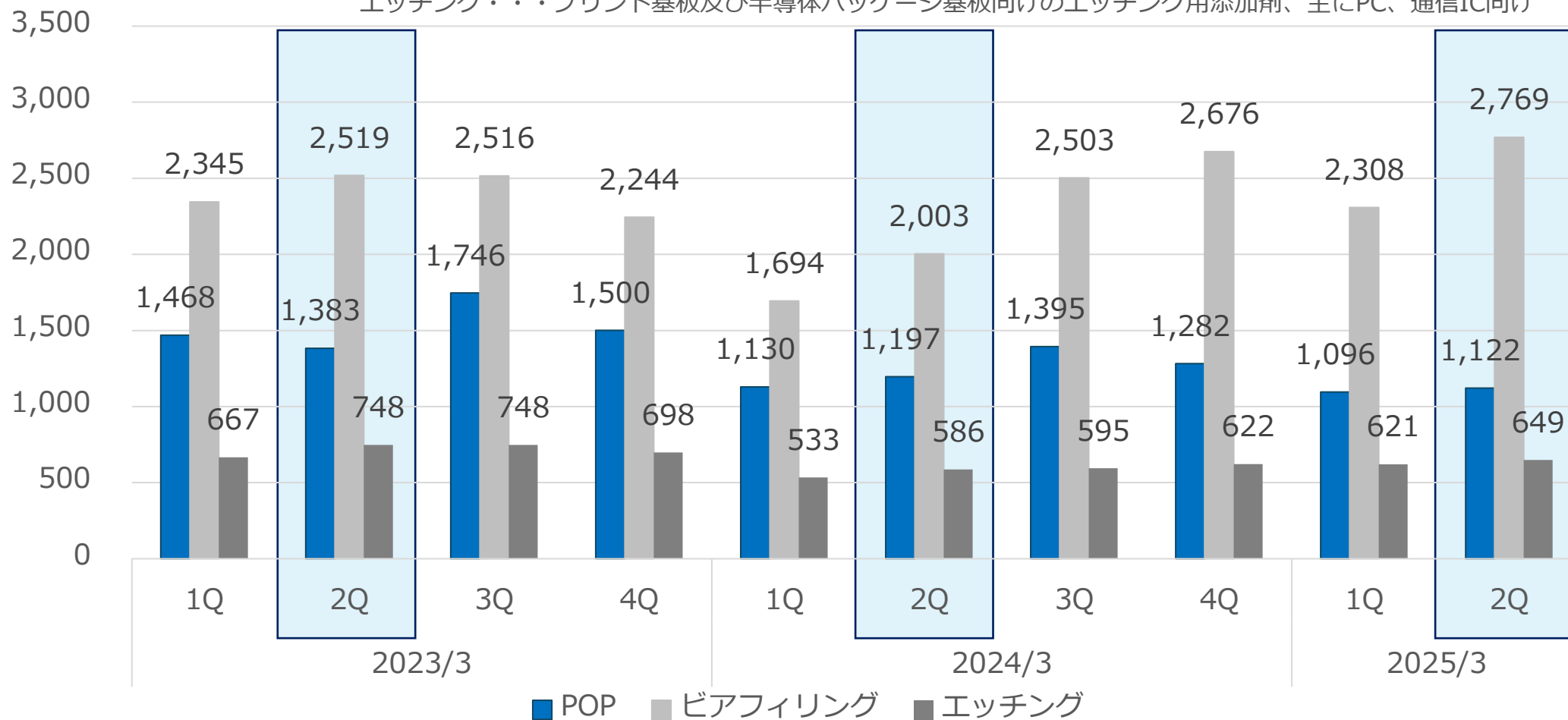


POP (Plating on Plastics)・・・プラスチック上へのめっきで、主に自動車部品向け

ビアフィリング・・・プリント基板及び半導体パッケージ基板向けの銅めっき用添加剤、主にスマートフォン、PC向け

エッチング・・・プリント基板及び半導体パッケージ基板向けのエッチング用添加剤、主にPC、通信IC向け

(単位：百万円)



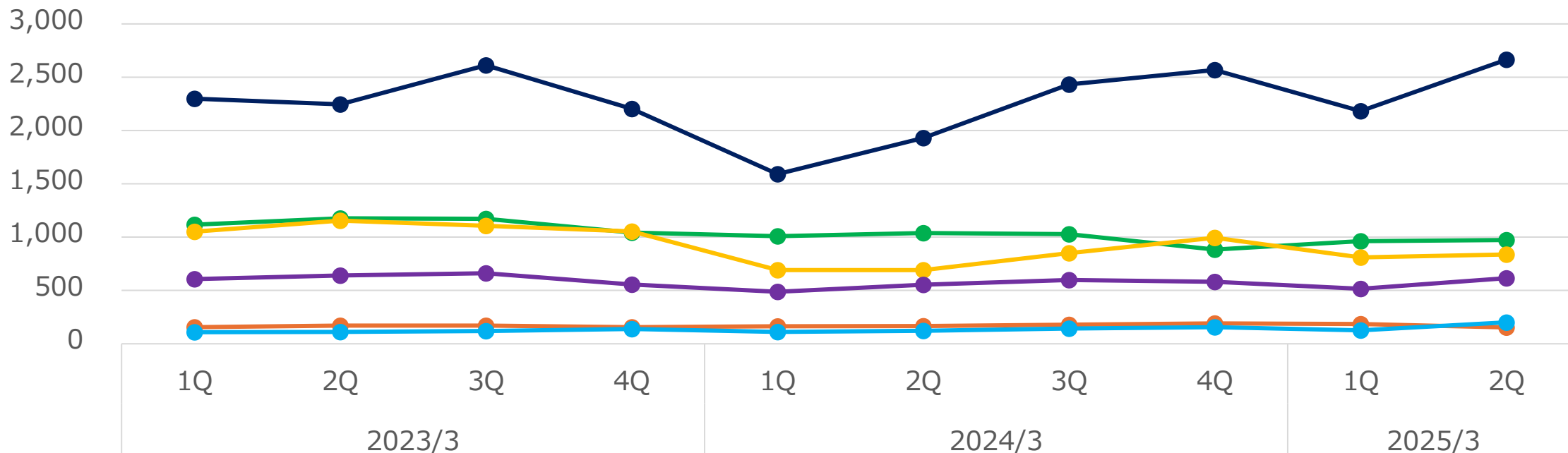
■ POP ■ ビアフィリング ■ エッチング

2025年3月期 第2四半期決算説明資料

# 四半期別 地域別薬品売上高の推移



(単位：百万円)

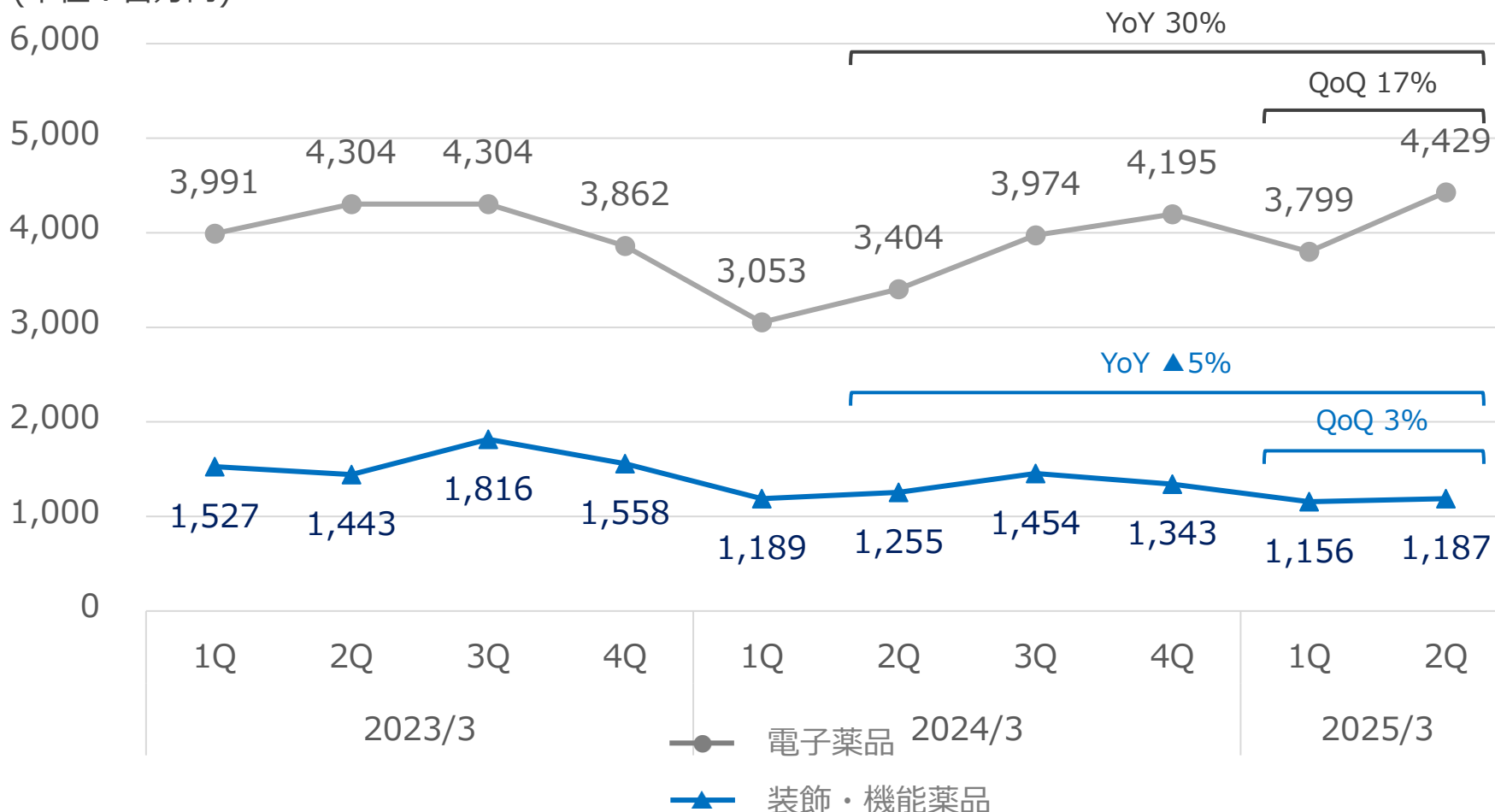


	2023/3				2024/3				2025/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
● 日本	1,117	1,177	1,173	1,043	1,009	1,038	1,028	884	962	974
● 中国	2,307	2,247	2,612	2,203	1,591	1,931	2,432	2,569	2,181	2,665
● 台湾	1,052	1,155	1,106	1,054	692	691	851	994	809	839
● 韓国	607	641	662	556	488	553	598	582	517	616
● タイ	156	170	170	155	164	166	179	191	186	154
● ベトナム	109	112	120	139	111	121	142	156	127	201

# 四半期別 地域別薬品売上高の推移

## 連結

(単位：百万円)



(電子薬品) 主力製品：ビアフィリング  
プリント基板、コネクタ、  
半導体分野向けの表面処理薬品

(装飾・機能薬品) 主力製品：POP  
装飾、防錆分野向けの薬品  
主に自動車部品、水栓金具等の  
表面処理薬品

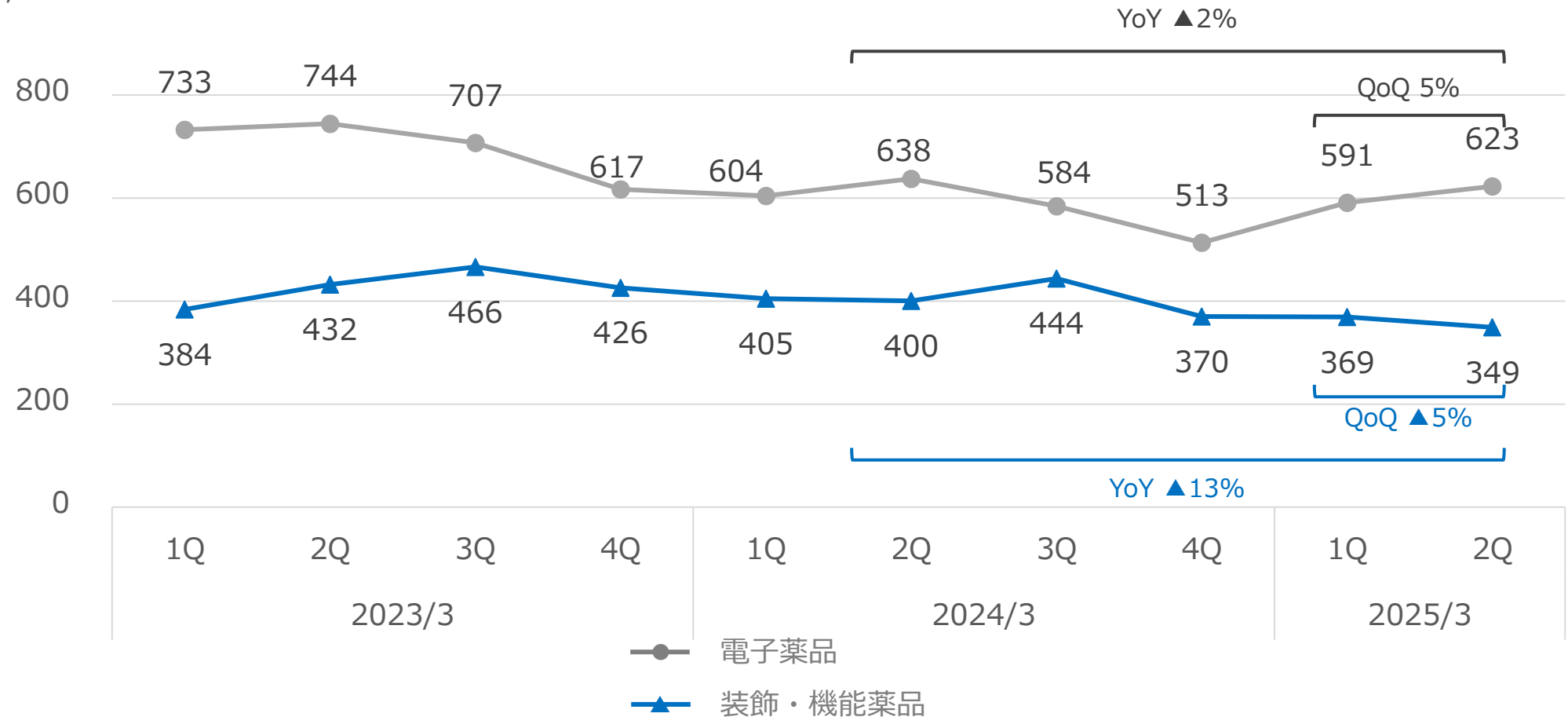
# 四半期別 地域別薬品売上高の推移



## 国内

(単位：百万円)

1,000

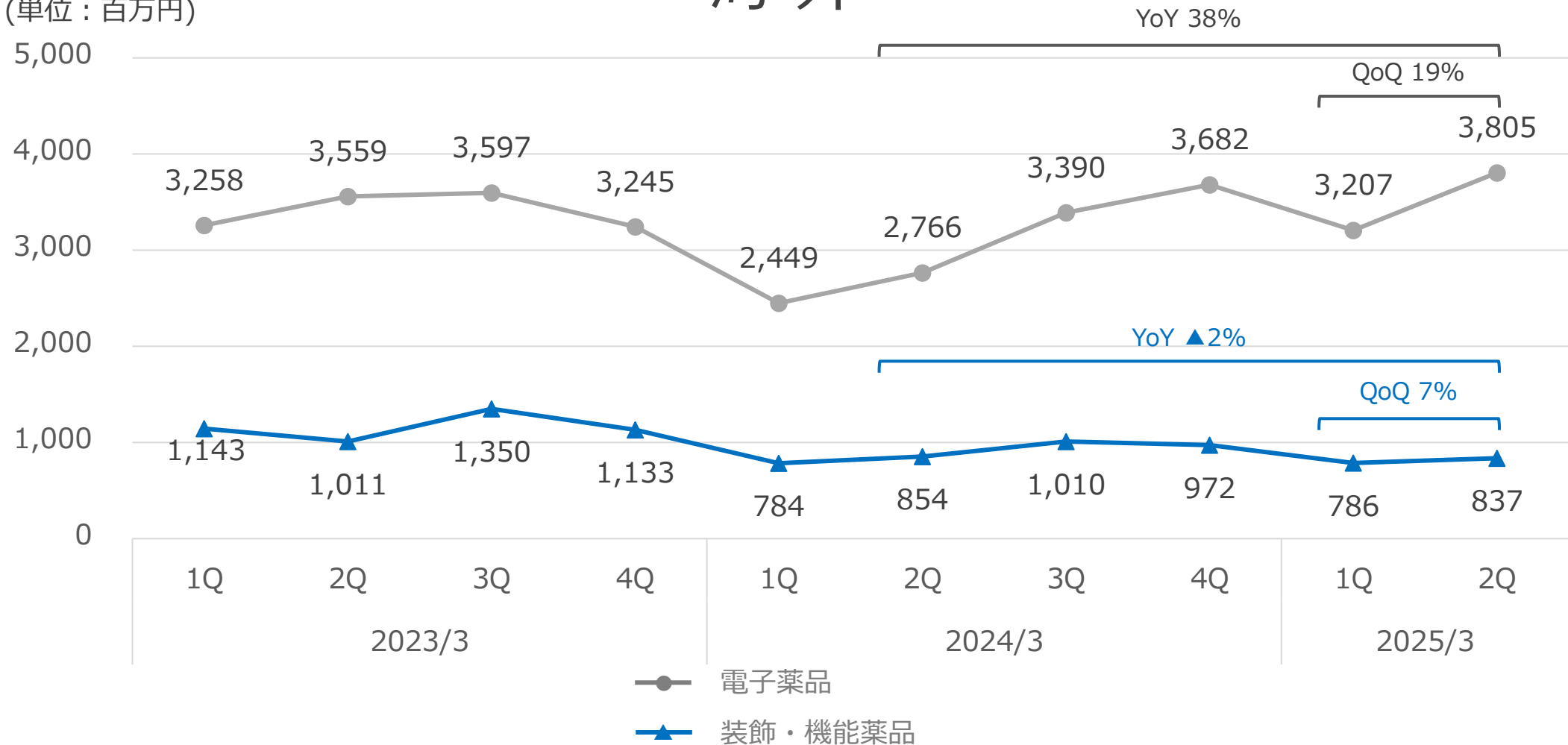


# 四半期別 地域別薬品売上高の推移



## 海外

(単位：百万円)

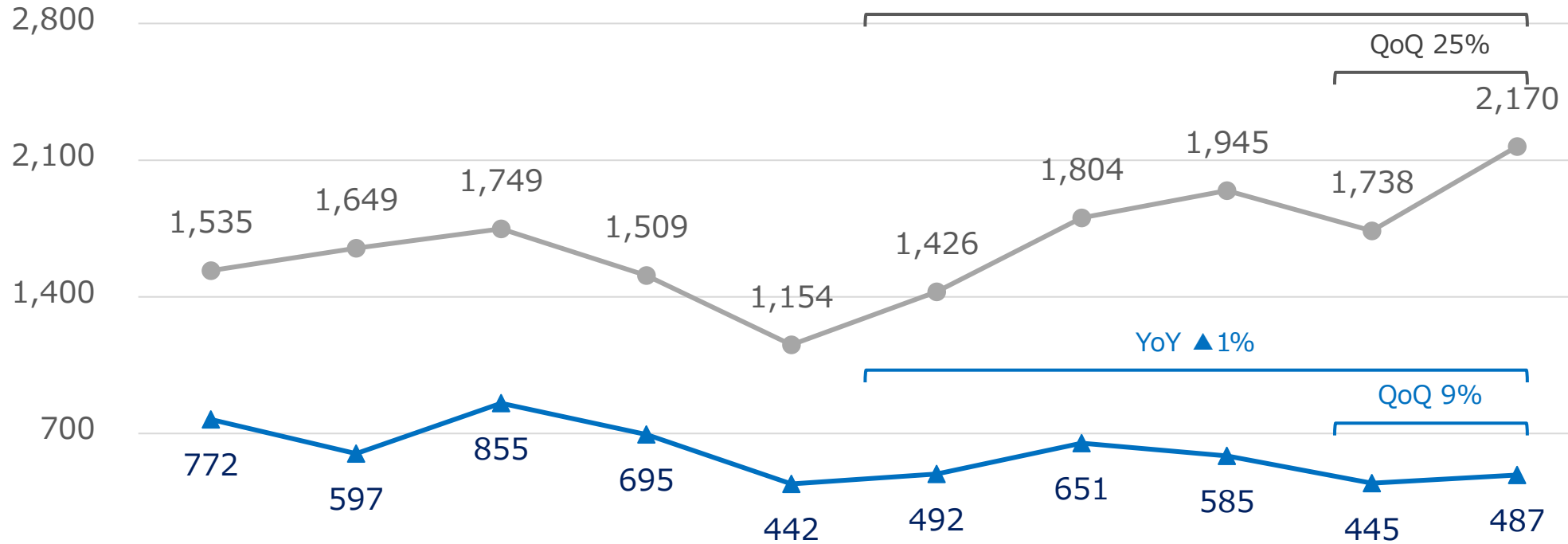


# 四半期別 地域別薬品売上高の推移



## 中国

(単位：百万円)



2023/3	2024/3	2025/3
1Q	1Q	1Q
2Q	2Q	2Q
3Q	3Q	
4Q	4Q	

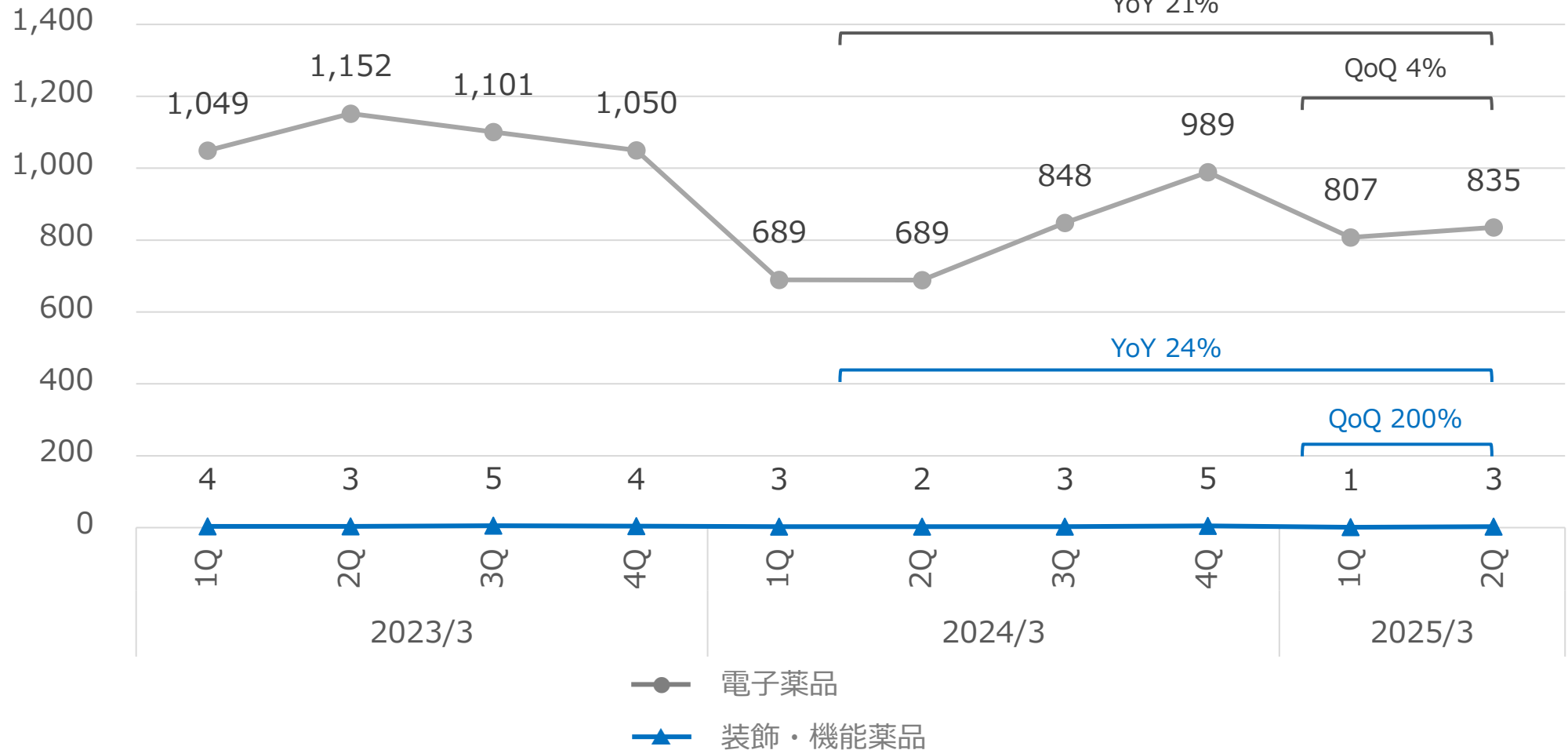
● 電子薬品  
▲ 装飾・機能薬品

# 四半期別 地域別薬品売上高の推移



## 台湾

(単位：百万円)



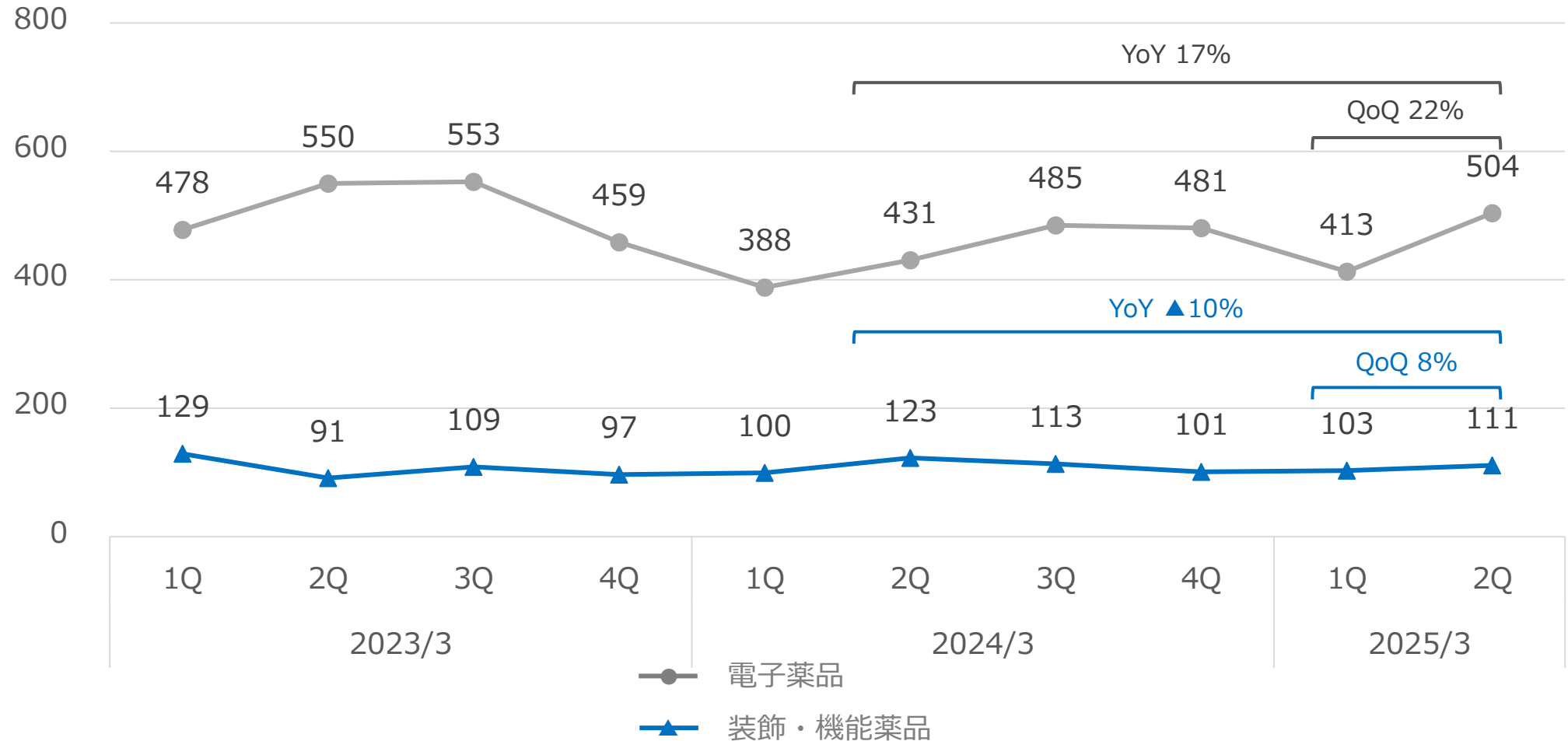


# 四半期別 地域別薬品売上高の推移



## 韓国

(単位：百万円)



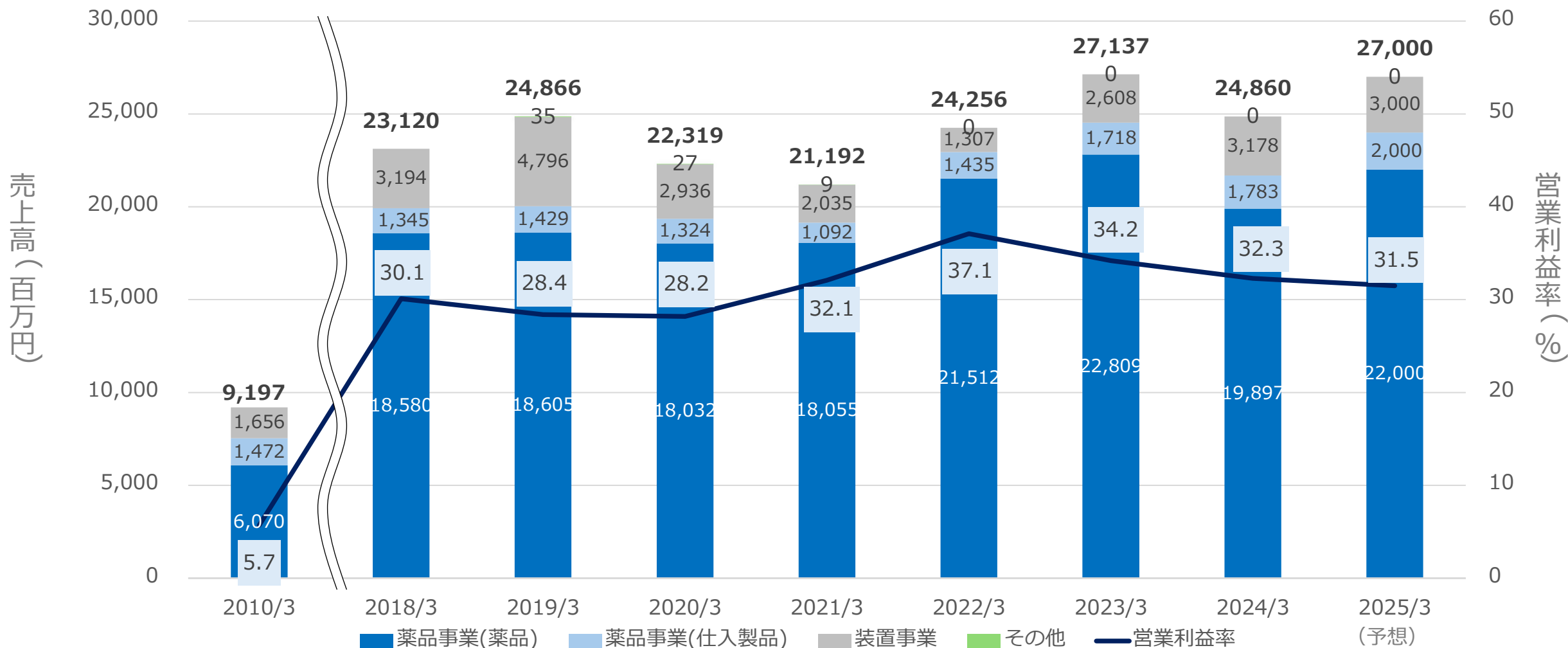
# 2025年3月期 業績予想



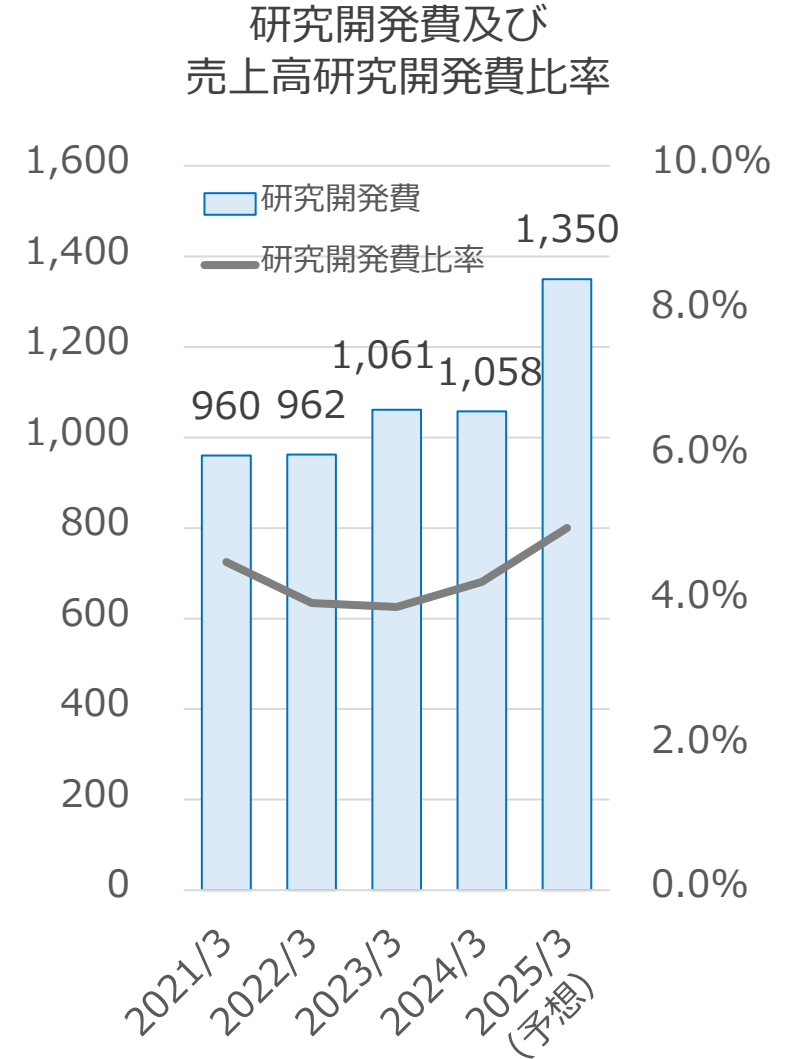
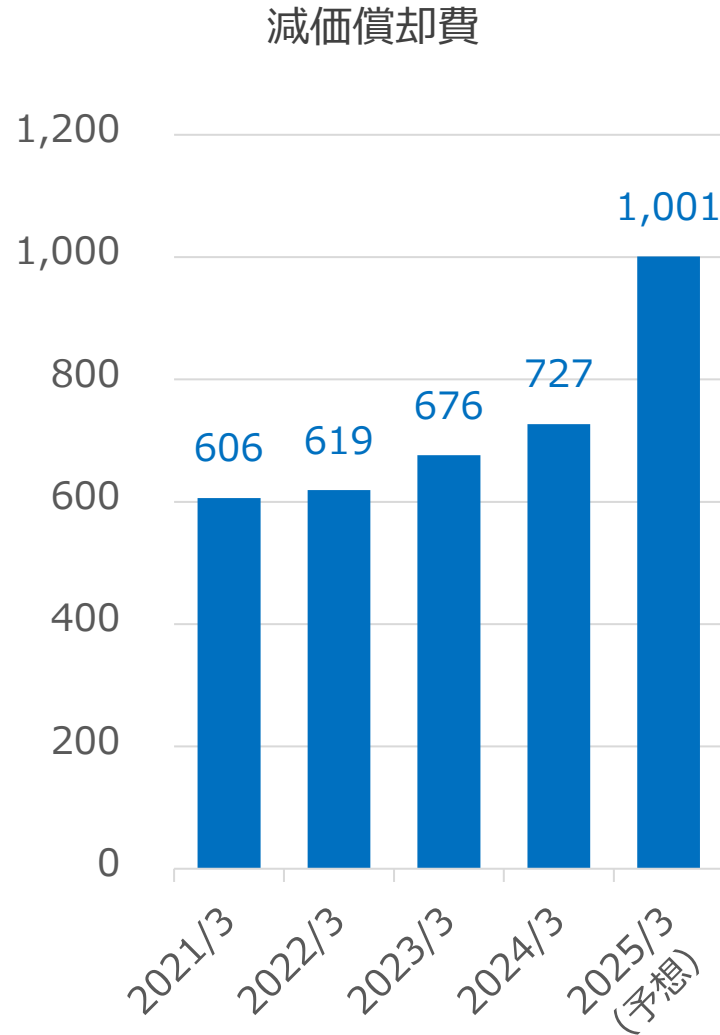
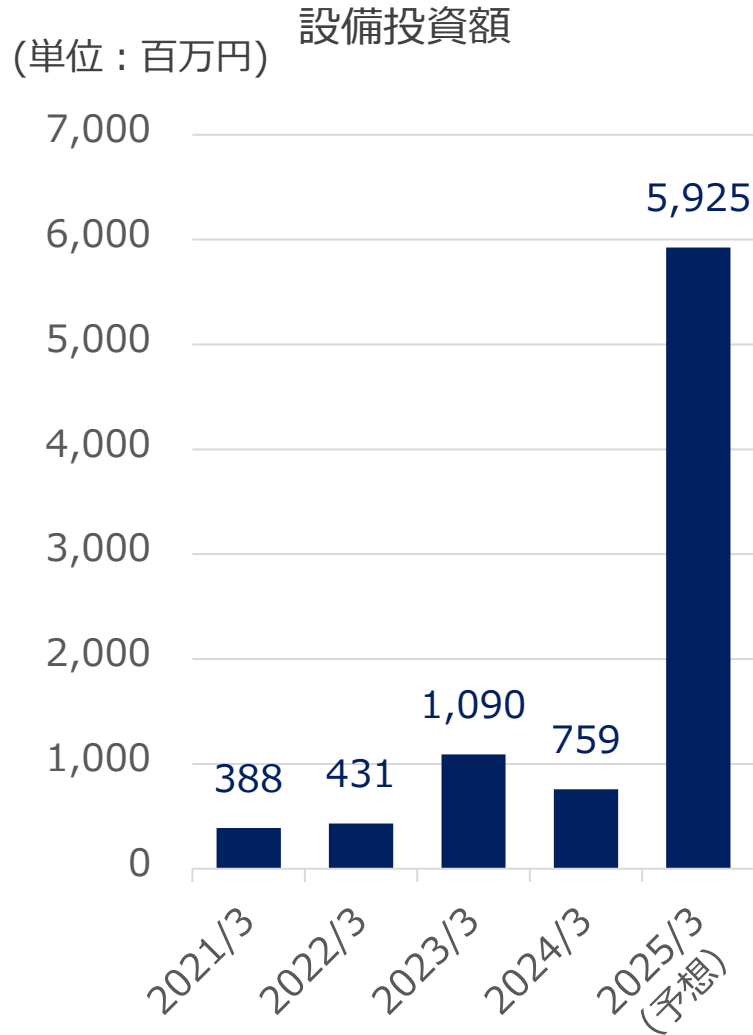
(単位：百万円)

決算期	2024年3月期 通期 実績	2025年3月期 中間期 実績	2025年3月期 通期 予想	通期予想に 対する進捗率
売上高	24,859	12,736	27,000	47.2%
営業利益	8,041	4,665	8,500	54.9%
経常利益	8,216	4,983	8,500	58.6%
親会社株主に 帰属する 中間純利益	5,530	3,385	5,900	57.4%
1株当たり 中間純利益	216円95銭	133円72銭	232円90銭	—

# 年度別セグメント別売上高推移（予想）



# 設備投資額、減価償却費及び研究開発費



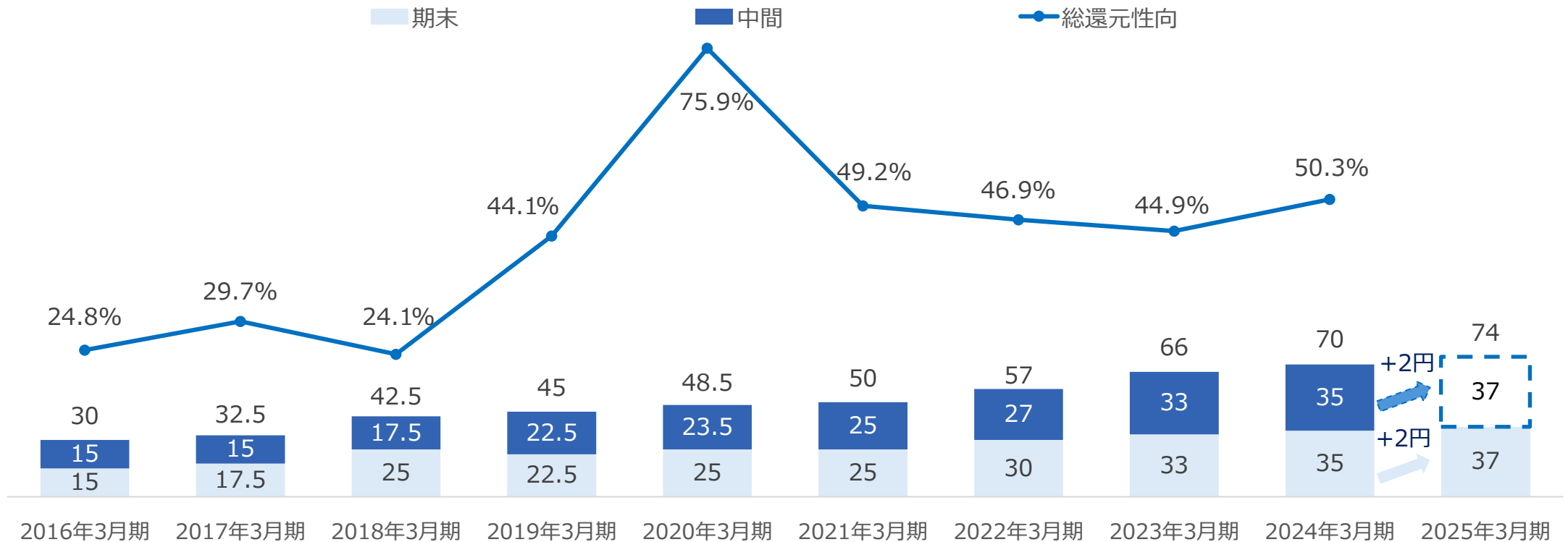
# 2025年3月期 資本政策



1株当たりの配当金  
(予想)

中間配当金：37円  
期末配当金：37円

15期連続増配予定



基本方針

- ・ 持続的な成長を達成するため手元流動性を確保し、安定した財務基盤を維持しつつ、成長投資を継続
- ・ 配当は安定増配を継続
- ・ 総還元性向を50%を目安に機動的な自己株式の取得による株主還元の実施

# ESGに関する取り組み



当社グループは、ESGに配慮した課題に事業活動を通じて取り組み、持続可能な成長を続けるグローバル企業を目指してまいります。

## Environment



### 環境配慮型製品の開発

- クロム酸フリーエッチングプロセス
- 低環境負荷化学ニッケルめっきプロセス
- 低環境負荷装飾用硫酸銅めっきプロセス



### CO<sub>2</sub>排出量 (単体)

1,005 t-CO<sub>2</sub> 【2024年3月期末】  
※2013年度比 30.6%削減



### ESG外部評価

CDP気候変動2023 : B評価に認定



## Social



### 女性管理職比率 (単体)

11.6% 【2024年3月期末】



### 国内外拠点のISO9001取得状況

7か国12拠点 【2024年3月期末】  
※日本、中国、台湾、韓国、タイ  
ベトナム、メキシコ

## Governance



### 企業統治の体制

- 取締役  
社内 : 6名、社外 : 3名 (内、女性1名)
- 監査役  
常勤 : 1名、社外 : 2名 (内、女性1名)

- 会社概要
- 今後必要とされる表面処理技術
- 主な商流
- 薬品用途説明 最終製品例

# 会社概要



創 業	:	1957年 12月
設 立	:	1968年 4月 1日
資 本 金	:	12億8,148万円
年 商	:	単体 138億円      連結 248億円      (2024年3月期)
本社所在地	:	東京都台東区東上野 4-8-1 TIXTOWER UENO 16階
業務内容	:	表面処理薬品、表面処理装置及び関連資材の製造・販売
代表者	:	代表取締役会長兼CEO 木村 昌志 代表取締役社長兼COO 大森 晃久
従業員数	:	単体 235名      連結 538名      (2024年3月31日現在)

## ISO認証取得

ISO9001	生産本部・本社営業部・総合研究所	JCQA-0281
ISO14001	生産本部・総合研究所	JCQA-E-0143



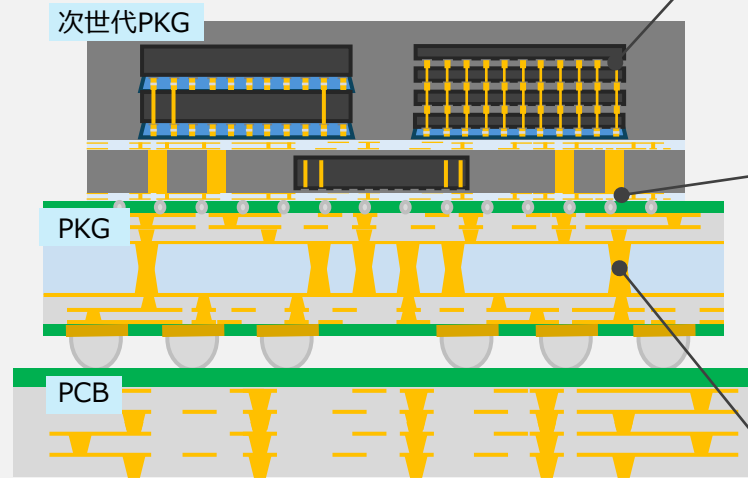
# 今後必要とされる表面処理技術 - 電子分野 -

## ターゲット

AIアクセラレータ、データセンタ、高機能電子デバイスなどの次世代PKG基板

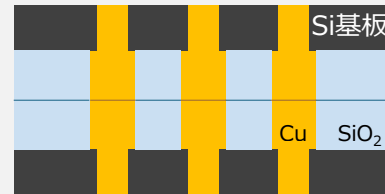
必要とされる表面処理技術

### 2.xD/3Dパッケージ



- ・高機能化に伴い多様化するパッケージ技術
- ・高密度実装による基板サイズの大型化
- ・チップ間配線距離の短縮

#### ハイブリッド接合



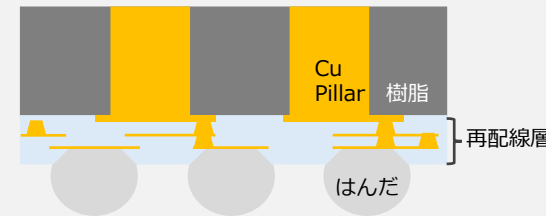
#### ○想定されるターゲット

メモリー

#### ○表面処理技術に要求される性能

接続信頼性の向上  
優れた電気特性

#### RDL (再配線)



#### ○想定されるターゲット

FO-WLP / PLP  
RDLインターポーザ

#### ○表面処理技術に要求される性能

面内均一性の向上  
薄膜埋まり性向上

#### TGV (ガラス貫通電極)



#### ○想定されるターゲット

ガラスコアサブストレート (FC-BGA)  
ガラスインターポーザ

#### ○表面処理技術に要求される性能

ボイド (空隙) フリー  
薄膜埋まり性向上

# 今後必要とされる表面処理技術 – 装飾・機能分野 –

ターゲット

自動車部品（フロントグリル、ドアハンドル、エンブレム等）、  
水栓部品（シャワーヘッド、排水栓等）

## 6価クロムフリー、PFASフリーのめっき技術

未処理品

【装飾めっきで使用される主要素材】  
・ABS  
・PC/ABS

従来品

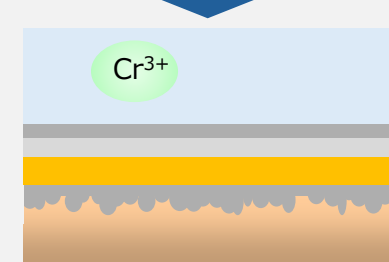
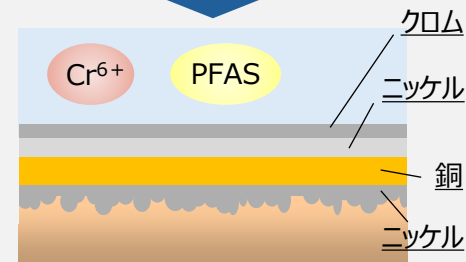
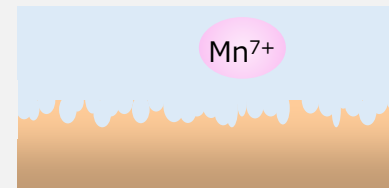
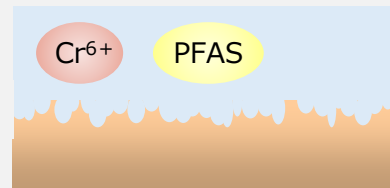
開発品

エッチング工程

プラスチック表面に  
凸凹を形成する

クロムめっき工程

めっきの膜を何層も重ねる  
(銅/ニッケル/クロム)



各種断面イメージ図



### ○従来プロセス

プラスチック上への装飾めっきでは、最初と最後の工程で環境負荷物質である“6価クロム”や“PFAS”が使用されている

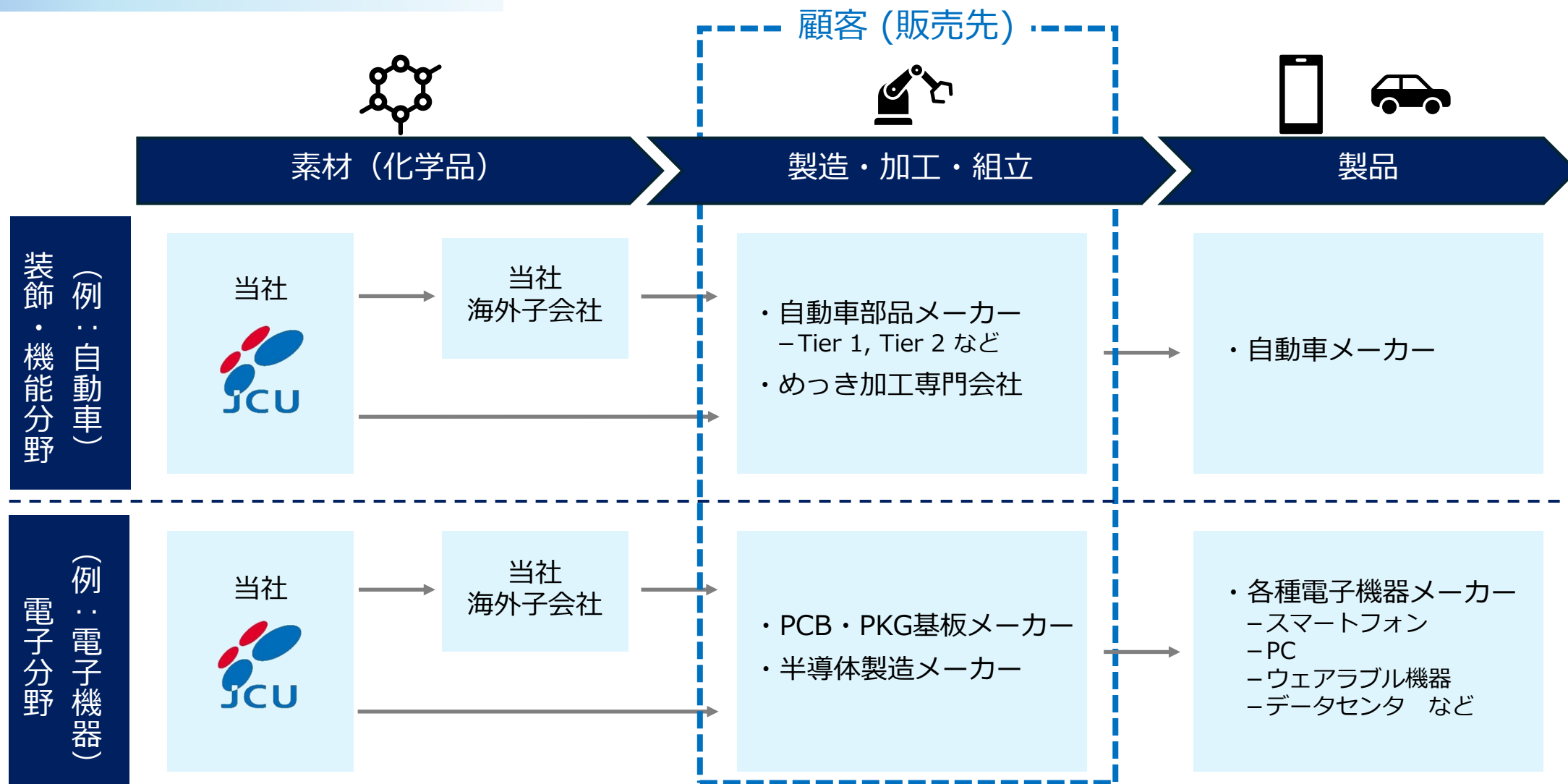
### ○JCUが提案する 新環境対応プロセス

工程内から6価クロムやPFASを排除した環境負荷低減のトータルプロセスを提案

必要とされる表面処理技術



環境に配慮した表面処理技術

# 主な商流



# 薬品用途説明 最終製品例



用語説明		最終製品
装飾・機能薬品	装飾・機能分野向け、金属外観の付与、サビ防止などの機能性付与のための表面処理薬品	自動車部品、水栓金具、建築部品 など
POP薬品 (Plating on Plastics)	プラスチック上へ金属膜をめっきするための薬品 例) エッチング薬品、各種めっき薬品 (銅、ニッケル、クロム) など	(自動車部品)フロントグリル、エンブレム など (水栓金具)シャワーヘッド、水栓コック など
その他基幹薬品	銅・鉄鋼などの金属素材へ金属膜をめっきするための薬品	(建築部品)ネジ、蝶番 など
電子薬品	電子信号を流すための回路、電子部品の電気接点などプリント配線板を製造するための表面処理薬品	高機能電子デバイス、データセンター等のインフラ、通信関連部品 など
ビアフィリング薬品	プリント基板や半導体パッケージ基板などの半導体関連部品を製造する過程で層間を電氣的に接続するため、ビア (孔) を銅めっきで充填する薬品	(高機能電子デバイス) スマートフォン、PC、タブレット、ゲーム機器 など
エッチング薬品	プリント基板や半導体パッケージ基板などの半導体関連部品を製造する過程で材料の表面に形成された薄いシード層 (銅) を化学反応によって剥がし、指定されたパターンの形にするための薬品	(データセンター等のインフラ) 通信サーバー向けプリント基板 など
その他電子薬品	コネクタ、リードフレーム用のめっき薬品など	(通信関連部品) 基地局、車載基板、スマート家電 など
表面処理関連装置	薬品性能を最大限に引き出すための表面処理関連装置	表面処理関連装置の一例
全自動表面処理装置	素材の投入からめっきの完成まで自動運転をする装置	 
付帯機器	表面処理装置に付随する、ろ過機等の付帯機器	
自動分析管理装置	めっき液の濃度を分析し不足分を補給して、自動で管理する装置	
プラズマ表面処理装置	プリント基板のめっき前処理用等の洗浄処理装置	

プラズマ表面処理装置

自動分析管理装置

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

当社ホームページ：  
<https://www.jcu-i.com/>

お問い合わせ先：経営戦略室  
Email： [ir2@jcu-i.com](mailto:ir2@jcu-i.com)  
TEL： 03-6895-7004